

グローバル社会へのパスポートⅡ（世界人口の動向と国際開発）

（1）科目の紹介

基本情報	平成 25 年度・教養教育・前期	曜日・校時	金 4 限
モジュール名	グローバル社会へのパスポート	科目名	世界人口の動向と国際開発
教員名（所属）	松村 真樹（留学生センター）		教室 A-43
選択者数	41 名	2 年生の所属学部	教育学部 経済学部 薬学部
再履修数	6 名		(5 名) (33 名) (3 名)
<p>授業のねらい：</p> <p>日本や欧州のみならず、アジア諸国においても急速な少子高齢化が進む昨今であるが、その一方で、高い人口増加率が依然として続いている開発途上国もある。人口動態を見ることによって、世界の多様性が見えてくる。同時に、過剰都市化、環境問題、児童労働、社会格差と健康、そして少子高齢化など、様々な課題も浮き彫りになる。この授業では、人口学的視点から国際社会の変化と多様性についての理解を深めることを目指す。</p>			
<p>アクティブラーニングに向けて工夫した点：</p> <p>毎回、講義と演習からなる授業を展開した。特に力点を置いたのは、デモグラフィック・リテラシーと称する次の2点、すなわち①人口指標を適切に使って状況を説明する能力と②実際のデータにあたって経験的に状況を把握する能力の習得である。演習では、いくつかの国の実際の人口データを使って、さまざまな人口指標を計算してグラフ化し、それを見ながら先進国と途上国との間の人口動態の違いについて論じ合った。</p>			

（2）学修の評価

到達目標	<p>① 死亡, 出生, 移動に関する基本的な人口指標を計算し, その意味を解釈することができる。</p> <p>② 人口転換論について, また先進国と途上国の人口転換の違いについて説明することができる。</p> <p>③ 人口動態に影響を与える要因について, 社会・経済・文化的背景に関連付けて説明することができる。</p>
成績評価の方法	演習 (30%) 定期試験 (30%) レポート (20%) クイズ (20%)

（3）授業の進行

概要： 世界人口の動向を理解するために欠かせない人口転換, 人口構造, 出生率, 死亡率, 人口移動などの基本概念や指標について学ぶ。それらを使って世界人口の現状を説明する能力を養う。さらに, 変化する人口動態の背景にある社会・経済・文化的要因について考察する。

回	学習内容	授業方法（講義，グループワーク，プレゼンなど）
1	人口を知ると何がわかるか？	講義「なぜ人口に着目するのか？」 演習 World Population Data Sheet 2012 のなかで，2012 年人口及び 2050 年推計人口が最も多い国 10 か国を見つけて，変化を調べる。
2	さまざまな指標で見る世界人口の現状	講義「出生と死亡に関する基本的な指標」 演習 前掲 Data Sheet のなかで，自然増加率 1%以下の国 と 3%以上の国 を見つけ，それらの違いについて論じ合う。
3	人口構造の国際比較	講義「人口学における比と率，従属人口指数」 演習 人口ピラミッドの作成と解釈。
4	人口転換論	講義「人口転換論について」 演習 スウェーデン，メキシコの人口転換をグラフ化し，違いを考察する。
5	死亡率低下の歴史的推移と地域格差	講義「疫学的転換について」 演習 乳児死亡率及び経済指標のコロプレスマップを作成し，両者の相違点，類似点を話し合う。
6	生命表の見方と平均寿命について	講義「生命表による平均余命の計算」 演習 平均寿命と経済指標を散布図で表し，両者の関係について話し合う。
7	出生に関する指標と規定要因	講義「出生力近接要因モデル」 演習 いくつかの国のデータを使って合計特殊出生率を計算する。
8	出生率をめぐる先進国と途上国における諸問題	講義「出生率低下に関するさまざまな理論」 演習 受講生同士で教室内ミニ社会調査を実施し，日本の少子化の原因についての意見収集及び討論を行う。
9	人口移動と都市化	講義「人口移動の定義と指標，途上国の過剰都市化」 演習 都市人口割合の比較とそれからわかることについて話し合う。
10	国際人口移動と外国人労働者	講義「国際人口移動の理論と実際」 演習「日本に外国人労働者は必要か？」について討論する。
11	人口高齢化	講義「世界の人口高齢化の現状」 演習 途上国の人口高齢化に伴う課題について考察する。
12	人口増加と経済発展の関係	講義「人口ボーナスという考え方について」 演習 ヨーロッパ，アジア，南アメリカ，アフリカからそれぞれ 1 国選び，それらの国の 1950 年から 2050 年までの人口ボーナス指数を計算して折れ線グラフで示し，観察される事柄を話し合う。

13	人口増加と環境・資源	講義「成長の限界について」 演習 ドキュメンタリー『不都合な真実』鑑賞。
14	各国の人口政策	講義「人口政策とカイロ国連人口会議」 演習 ドキュメンタリー『インドの人口政策と女性たち』鑑賞。
15	まとめ	全体討論「人口転換論からわかること, 人口転換論から予測される未来」

(4) 授業の成果

全体の総括	この授業では、実際の人口データを使ったグラフ作成等の演習を通じて、経験的に状況を把握し、人口指標を適切に使ってその状況を説明する能力を習得できるように工夫した。その結果、初めて聞く専門的な人口指標などが多く紹介されるなかで、受講生はそれらの定義や算出方法を概ね理解しており、授業の到達目標は達成できた。
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・理論的な内容に関して説明が速いと感じている受講生が数人いたことから、今後はもっと時間をかけて説明するように改善したい。 ・自分が興味のある国を1国選び、カントリー・プロフィールを作成するレポート課題には多くの受講生が積極的に取り組んでいたことから、次回は、いくつかの優秀なレポートを選んで全員の前で発表させる機会を設けたい。

(5) アクティブ・ラーニングの充実にに向けた提案

ポイント提案	当然なことかもしれないが、演習課題やレポート課題は、やるべき事や期待される結果の詳細な説明を、きちんとした文書で配布して周知させたほうが、積極的に取り組むように思われた。その際、評価されるべきポイントや基準（例えばフォーマットや文字数など）も合わせて提示した。つまり、“フォーマリティー”がポイントでは。
参考になる資料	演習課題やレポート課題を考えるにあたって、アメリカの大学で使用されているシラバスをダウンロードして参考にした。

(別添資料)